

(付) 調 査 票 様 式

# あなたの声をお聞かせください

## ～ 2022年度郡山市民意見レーダー～



### <回答に当たってのお願い>

#### 【共通】

- 回答期限は5月28日（土）までです。
- この調査は、個人を対象にしていますので、あなた（あて名の方）ご自身の判断でお答えください。

#### 【調査票による回答の場合】

- 調査票や返信用封筒へは、お名前、具体的な住所の記入は不要です。
- 調査票へのご記入は、黒、青色等のボールペンや鉛筆をお使いください。
- 本調査票による回答の場合は、質問ごとに用意した答えの中から、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。また、回答は、「あてはまる番号を1つだけ選び○をつけてください」「あてはまる番号について全て選び、○をつけてください」等と質問文に対応した内容でご記入をお願いいたします。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）で、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。

#### 【スマートフォン・パソコンからの回答の場合】

スマートフォン・パソコンからもご回答いただけます。  
右記のQRコード、又は下記の検索等でアクセスのうえご利用ください。

#### 【アクセス方法】

ふくしま電子申請

検索

⇒「ふくしま電子申請」を検索



⇒「ふくしま県市町村共同電子申請システム団体選択-福島県ホームページ」をクリックし「郡山市」を選択 ⇒「2022年度郡山市民意見レーダー」を選択

#### 【入力方法】

1. 「かんたん申請・申込システム」の画面に移行します。ひとつの画面入力が終わりましたら「次へ」をクリックしてください。
2. 内容確認の画面が出ますので、修正がなければ「送信する」をクリックしてください。
3. 「受け付け」の画面が出たら終了です。

※ 入力できる時間は**1時間以内**です。入力から1時間過ぎますと送信できなくなりますので、その際は改めてはじめてから入力をお願いします。

- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<お問合せ先> 郡山市政策開発部広聴広報課

電話：024-924-2061

Email: kocho@city.koriyama.lg.jp

## 1 幸福度の現状について

あなたが普段感じている気持ちについてお伺いします。

(1) あなたは普段どの程度幸福だと感じていますか？

あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

- |                                     |                                      |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 幸福を感じる (とても幸せ)                   | 4. どちらかという和幸福を感じない (どちらかという和幸福を感じない) |
| 2. どちらかという和幸福を感じる (どちらかという和幸福を感じない) | 5. 幸福を感じない (不幸せ)                     |
| 3. どちらでもない (普通)                     |                                      |

(2) あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか？

1～17のうちあてはまるものの番号を3つまで選び、○印をつけてください。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 健康状況         | 10. 治安・防災関係      |
| 2. 家族関係         | 11. 子育て環境        |
| 3. 居住環境         | 12. 就業状況         |
| 4. 自由な時間、充実した余暇 | 13. 地域コミュニティとの関係 |
| 5. 家計の状況        | 14. 教育環境         |
| 6. 友人関係         | 15. 社会貢献         |
| 7. 自然環境         | 16. 地域の歴史・文化     |
| 8. 仕事のやりがい      | 17. その他          |
| 9. 職場の人間関係      |                  |

【「その他」を選択した方は重視している項目を別紙お書きください。】

## 2 郡山市の住みやすさについて

まちの住み心地や郡山市への愛着等について、どのように感じているか、あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

(1) あなたにとって、郡山市は住みやすいまちですか？

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい         | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. 住みにくい         |
| 3. どちらともいえない     |                  |

【「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」とお感じになる理由をご自由にお書きください。】

(2) あなたは、今後も郡山市に住みたいと思いますか？

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 1. 現在の住所にずっと住み続けたい | 4. いずれは市外に住みたい |
| 2. 市内の別の地域に住みたい    | 5. 住みたくない      |
| 3. どちらともいえない       |                |

【「いずれは市外に住みたい」または「住みたくない」とお考えになる理由をご自由にお書きください。】

### 3 郡山市のまちづくりについて

現在、本市が進めているまちづくり（取組み）について、どのように感じているか、それぞれにあてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

<b>【1. 産業・仕事の未来】 (商業・工業・雇用・農林業分野)</b>	よ い	ど も よ い え	ど も か た い え	不 満	わ か ら な い
<b>1. 地域産業</b> 地域の中小企業の事業承継 ※1 やM&A ※2 をはじめ、産業の新陳代謝や持続的発展など活性化が図られているか <small>※1 会社等の経営を後継者に引き継ぐこと      ※2 合併・買収</small>	5	4	3	2	1
<b>2. 起業支援</b> 創業・起業がしやすい環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>3. 産業創出・企業誘致</b> 研究開発機関や大学等との連携により、再生可能エネルギー ※3 や医療機器関連産業など本市の強みを活かし、新しい分野の産業や企業の育成、誘致・集積等、産業の振興が図られているか <small>※3 石油・石炭などの限りがある化石燃料に対し、太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など一度利用しても比較的短期間に再生するエネルギー源のこと</small>	5	4	3	2	1
<b>4. 雇用・就労</b> 市内企業の安定的な雇用があり、やりがいを持って就労できる労働環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>5. 農林業</b> 農林業の生産性向上、担い手の確保等により活性化が図られているか	5	4	3	2	1
<b>6. 特産品ブランド化</b> 食や農を生かした特産品がブランド化され、注目されているか	5	4	3	2	1
<small>【1. 産業・仕事の未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。</small>					



【Ⅱ. 交流・観光の未来】 (交流・文化・観光・シティプロモーション分野)	よ い	ど も よ い	ど も 中 間	ど も 不 満	わ か ら な い
<b>7. 都市間交流・国際交流・関係人口 ※1</b> 様々な地域や国の人々との交流・活動を通じ、友好や相互理解を深める等、国内外に開かれたまちとなっているか <small>※1 移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者</small>	5	4	3	2	1
<b>8. 歴史・文化遺産</b> 日本遺産など豊かな歴史に根ざした地域資源が適切に保存されるとともに観光のまちづくりに活かされているか	5	4	3	2	1
<b>9. 音楽のまちづくり</b> 音楽に触れる機会や環境が整い、音楽がまちづくりに活かされているか	5	4	3	2	1
<b>10. 観光</b> 観光誘客や観光資源の活用及びコンベンション ※2 の誘致により国内、インバウンド ※3 の観光客等が増加しているか <small>※2 企業の展示会や学会等の学術会議、国内外の研究者が集う国際会議等            ※3 入ってくるものという意味から転じて、外国（区域外）から訪れる旅行を指す。            対義語：アウトバウンド</small>	5	4	3	2	1
<b>11. シティプロモーション ※4</b> 本市の魅力が広く内外に発信され、知名度が向上し、交流人口増加や移住・定住の促進が図られているか <small>※4 地域のイメージを高め、知名度の向上や地域への愛着を醸成する手法</small>	5	4	3	2	1
<small>【Ⅱ. 交流・観光の未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。</small>					
【Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来】 (子育て・教育・地域学習分野)	よ い	ど も よ い	ど も 中 間	ど も 不 満	わ か ら な い
<b>12. 子育て</b> 安心して生み育てる環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>13. 乳幼児教育・家庭教育</b> 家庭、地域、企業そして子育て・教育機関が連携して、子育てや教育を学びあう環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>14. 青少年健全育成</b> 子どもたちの安全な居場所や地域での見守りなど、健全に育つ環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>15. 学校教育</b> 子どもたちの「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の資質・能力を育成するために、どの子も思う存分学べる教育環境の整備・充実が図られているか	5	4	3	2	1
<b>16. 地域学習</b> 子どもたちの地域への愛着を育む、地域活動への参加機会や地域の産業、生活、文化、歴史などを学ぶ環境が充実しているか	5	4	3	2	1
<small>【Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。</small>					

<b>【IV. 誰もが地域で輝く未来】            (市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)</b>	<b>よ い</b>	<b>ど も か い い え</b>	<b>ど も か あ い え</b>	<b>不 満</b>	<b>わ か ら な い</b>
<b>17. 市民協働</b> ※1 市民誰もが、知識や経験、個性を生かし、様々な社会参加ができる機会や場があるか <small>※1 市民・市民活動団体・企業・行政等が、お互いの長所を生かし役割を分担した上で対等の立場で協力し合うこと</small>	5	4	3	2	1
<b>18. 地域コミュニティ</b> 町内会活動など地域コミュニティの活性化が図られているか	5	4	3	2	1
<b>19. 広聴広報</b> 市政に関する情報の公開や市民からの意見・提案の募集、市民参加のイベントなど市政への市民参画が図られているか	5	4	3	2	1
<b>20. スポーツ・文化・芸術</b> 多様なスポーツ、文化・芸術に触れる機会や活動する場などの環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>21. 生涯学習</b> 生涯を通じて、好きなこと、得意なことを学習でき、それらを地域社会で生かせる機会や場などの環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>22. 地域福祉</b> 地域や隣近所で互いに支えあい、助け合う体制が整っているか	5	4	3	2	1
<b>23. 高齢者福祉</b> 介護予防対策や介護サービスの充実、質の確保・向上など高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせる環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>24. 障がい者福祉</b> 障がい者差別の解消や就労等社会参加の促進など障がい者の生活を支える環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>25. 健康づくり</b> 生活習慣病予防対策、健診体制や健康相談等、健康に暮らすための支援体制が充実しているか	5	4	3	2	1
<b>26. 医療</b> 必要なときに安心かつ適切な医療を受けられる体制が充実しているか	5	4	3	2	1
<b>27. 男女共同参画</b> 家庭や地域、職場において、男女が共に個性と能力を発揮できているか	5	4	3	2	1
<small>【IV. 誰もが地域で輝く未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。</small>					

【V.暮らしやすいまちの未来】 (環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)	よ い	ど も ら か い え	ど も ら か い え	不 満	わ か ら な い
<b>28. 環境活動</b> 温室効果ガス排出量の削減に向けた普及啓発等、環境負荷が少ないまちづくりへの取組みが進んでいるか	5	4	3	2	1
<b>29. 3R ※1 (資源の有効利用)</b> ごみ減量、リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させる取組みが進んでいるか <small>※1 「Reduce (発生抑制)」「Reuse (再使用)」「Recycle (再生利用)」の頭文字をとった言葉</small>	5	4	3	2	1
<b>30. エネルギー</b> 省エネルギーの推進や環境にやさしい再生可能エネルギー ※2 の普及に向けた取組みが進んでいるか <small>※2 石油・石炭などの限りがある化石燃料に対し、太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など一度利用しても比較的短期間に再生するエネルギー源のこと</small>	5	4	3	2	1
<b>31. 自然環境</b> 豊かな自然が適正に保全され、それらと身近にふれあえる環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>32. 防災</b> ライフラインの確保や情報の共有化、消防、救急体制の整備、自然災害対策等、防災に対する備えができていますか	5	4	3	2	1
<b>33. 防犯・交通安全・消費者対策</b> 犯罪の未然防止、通学路や生活道路等の交通安全対策、消費者対策により、安心して生活することができていますか	5	4	3	2	1
<b>34. ユニバーサルデザイン ※3</b> 障がいの有無や年齢等に関わらず、誰もが快適に暮らすことができる取組みが進んでいるか <small>※3 障がいの有無や年齢、言語、性別などの違いに関わらず、はじめからできるだけ多くの人使いやすい製品や建物、都市環境、サービス等の提供を目指そうという考え方のこと</small>	5	4	3	2	1
<b>35. 交通・道路</b> 生活に必要な拠点や施設へのアクセスが容易であるなど、利便性の高い交通体系が整っているか	5	4	3	2	1
<b>36. 計画的な都市づくり</b> 「こおりやま広域圏」の玄関口として、中心市街地の活性化や地域特性を活かした魅力的なまちとなっているか	5	4	3	2	1
<b>37. 住環境</b> 公園や生活道路、上下水道等が整備されているとともに、景観への配慮等、住環境が整っているか	5	4	3	2	1
<small>【V.暮らしやすいまちの未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。</small>					



<b>【基盤的取組】</b> <b>(行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs・DX推進・復興、創生の更なる推進)</b>	<b>よ</b> <b>い</b>	<b>ど</b> <b>も</b> <b>よ</b> <b>い</b> <b>よ</b>	<b>ど</b> <b>も</b> <b>よ</b> <b>い</b> <b>よ</b>	<b>不</b> <b>満</b>	<b>わ</b> <b>か</b> <b>ら</b> <b>な</b> <b>い</b>
<b>38. 行政経営</b> ICT ※1 の積極的な活用、官民連携による様々な手法やノウハウの柔軟な導入など先進的で効率的な行政経営の改善が図られているか <small>※1 情報通信技術</small>	5	4	3	2	1
<b>39. セーフコミュニティ ※2</b> 安全・安心なまちづくりのため、地域全体でセーフコミュニティ活動を推進しているか <small>※2 WHO（世界保健機関）が推奨する国際認証制度で「けがや事故」をデータから客観的に分析し、地域住民や団体、行政等による連携・協働により「けがや事故」の予防に取り組んでいる地域のこと</small>	5	4	3	2	1
<b>40. 連携中枢都市圏構想 ※3</b> 「連携中枢都市圏」の推進により、圏域全体の経済活性化や広域的な課題解決が図られているか <small>※3 一定要件を満たす連携中枢都市と近隣市町村との連携協約により圏域の活性化を図る構想</small>	5	4	3	2	1
<b>41. SDGs ※4</b> 2015年に国連で採択された、2016年から2030年までの国際的な「持続可能な開発目標」であるSDGsの取組みが進んでいるか <small>※4 SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の頭文字を集めた言葉で、日本語では「持続可能な開発目標」と呼ばれています。</small>	5	4	3	2	1
<b>42. DX推進</b> 行政手続きのオンライン化、キャッシュレス化などをはじめとした行政のDXが推進されているか	5	4	3	2	1
<b>43. 復興、創生の更なる推進</b> 内部被ばく検査や自家消費野菜等の放射能検査などの健康管理が図られているか また、郡山製品の安全性のPR、販路の拡大及び観光誘客等により風評の払しょくが図られているか	5	4	3	2	1
<small>【基盤的取組】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。</small>					



#### 4 郡山市のこれからの取組みについて

現在、本市が進めているまちづくり（取組み）について、特に重要と思われるものの番号を1～43から5つ選び、その番号に○印をつけてください。

<p><b>【Ⅰ. 産業・仕事の未来】</b> (商業・工業・雇用・農林業分野)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域産業</li> <li>2. 起業支援</li> <li>3. 産業創出・企業誘致</li> <li>4. 雇用・就労</li> <li>5. 農林業</li> <li>6. 特産品ブランド化</li> </ol> <p><b>【Ⅱ. 交流・観光の未来】</b> (交流・文化・観光・シティプロモーション分野)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. 都市間交流・国際交流・関係人口</li> <li>8. 歴史・文化遺産</li> <li>9. 音楽のまちづくり</li> <li>10. 観光</li> <li>11. シティプロモーション</li> </ol> <p><b>【Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来】</b> (子育て・教育・地域学習分野)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>12. 子育て</li> <li>13. 乳幼児教育・家庭教育</li> <li>14. 青少年健全育成</li> <li>15. 学校教育</li> <li>16. 地域学習</li> </ol> <p><b>【Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来】</b> (市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>17. 市民協働</li> <li>18. 地域コミュニティ</li> <li>19. 広聴広報</li> <li>20. スポーツ・文化・芸術</li> <li>21. 生涯学習</li> <li>22. 地域福祉</li> <li>23. 高齢者福祉</li> <li>24. 障がい者福祉</li> <li>25. 健康づくり</li> <li>26. 医療</li> <li>27. 男女共同参画</li> </ol>	<p><b>【Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来】</b> (環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>28. 環境活動</li> <li>29. 3R(資源の有効利用)</li> <li>30. エネルギー</li> <li>31. 自然環境</li> <li>32. 防災</li> <li>33. 防犯・交通安全・消費者対策</li> <li>34. ユニバーサルデザイン</li> <li>35. 交通・道路</li> <li>36. 計画的な都市づくり</li> <li>37. 住環境</li> </ol> <p><b>【基盤的取組】</b> (行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs・DX推進・復興・創生の更なる推進)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>38. 行政経営</li> <li>39. セーフコミュニティ</li> <li>40. 連携中枢都市圏構想</li> <li>41. SDGs</li> <li>42. DX推進</li> <li>43. 復興、創生の更なる推進</li> </ol>
--	--

## 5 気候変動対策（地球温暖化対策）について

近年、地球温暖化の影響によると考えられる豪雨や猛暑などの気象災害が、私たちの生活に深刻な影響を与えており、今後温暖化が進むと、そのリスクは更に高まると予測されています。

郡山市では、このような気候変動に対応したまちづくりを進めるため、2019年に「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」を宣言し、地球温暖化の要因となる二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）等の温室効果ガスの削減に向け、様々な取組みを行っています。

今後の気候変動対策の参考とするため、以下の項目について、ご意見をお聞かせください。

- (1) 地球温暖化の影響による平均気温の上昇や豪雨災害の増加など、自然環境の変化についてどのように感じていますか？

あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 1. かなり不安である     | 4. 不安ではない  |
| 2. 多少の不安を感じている  | 5. どちらでもない |
| 3. あまり不安は感じていない |            |

- (2) 気候変動対策（二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）などの温室効果ガスの削減等）について、どのように感じていますか？

あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1. 非常に関心がある | 4. 全く関心がない |
| 2. 多少関心がある  | 5. どちらでもない |
| 3. あまり関心がない |            |

- (3) あなたが日常生活の中で環境に配慮している取組みは何ですか？

あてはまる番号について全て選び、○印をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 近距離での移動や公共交通機関で行ける場所には、自動車は使わないようにしている |
| 2. テレビや照明などはこまめに消す                        |
| 3. 再生可能エネルギーの比率が高い電力会社を選択している             |
| 4. 服装を調整して過度な冷暖房に頼らないクールビス、ウォームビスを行っている   |
| 5. 電化製品は省電力型のを優先して購入している                  |
| 6. 買い物をする際はエコバックを持参するようにしている              |
| 7. プラスチックごみが出る商品を買わないようにしている              |
| 8. 食材や食品を食べきれぬ分だけ購入するなど、食べ残しがでないよう心がけている  |
| 9. 資源ごみは資源回収に出すなどリサイクルを行っている              |
| 10. シャワーなどの水を出しっぱなしにしない                   |
| 11. 日常的な使用や災害時に備え自宅に太陽光パネルや蓄電池を設置する       |
| 12. 高断熱・高气密な住宅の購入や、住宅の断熱リフォームをする          |
| 13. 食材を選ぶときはできるだけ地元のものを選ぶようにしている          |
| 14. テレワークを実施している                          |
| 15. フリーマーケットやシェアリングを活用している                |
| 16. 車を購入する際は電気自動車（EV）や水素燃料電池自動車（FCV）を購入する |
| 17. 特にしていない                               |

(4) より良い環境づくりを進めるために、郡山市は今後どのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか？

あてはまる番号を3つ選び、○印をつけてください。

【気候変動に対応するレジリエントなまちづくり※1】

1. 省エネルギーに関する取組み
2. 次世代自動車の普及に関する取組み
3. コミュニティバスなど公共交通機関の充実
4. 太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入・推進
5. エネルギーの地産地消※2に関する取組み
6. 水素社会実現※3に向けた取組み
7. 自然災害に強い安全なまちづくり

【資源が循環する持続可能なまちづくり】

8. プラスチックなどのリサイクルの推進
9. 食品ロスを含むごみの減量化

【多様な生物が生息し自然と共生するまちづくり】

10. 外来種※4対策や貴重な野生動植物などの保護
11. 森林の保全や公園整備などの緑化に関する取組み

【きれいな水や空気が守られ安全・安心に暮らせるまちづくり】

12. 大気や水質、騒音や悪臭などの公害対策

【環境を思いやる人がたくさんいるまちづくり】

13. 環境教育（学校や地域などにおける環境学習の充実）
14. 環境に関する情報の収集や提供
15. 市民や事業者による環境活動への支援
16. 環境への取組みを称賛する表彰制度

【新しい生活様式に対応したDXによる環境施策の推進】

17. デジタル技術の活用による効率的な行政サービスの提供

※1 パンデミックや災害の状況下でも社会が停滞しにくく、短時間での回復・復興が可能なまちを実現すること。

※2 電力などのエネルギーを地域で創り、地域内で消費する仕組み。

※3 水素を主要なエネルギーとして日常生活で利用する社会。

※4 人為的な移動により、その生物本来の自然分布域外に生育または生息する生物種（国内外由来両方含む）。そのうち、様々な被害を及ぼす恐れのあるものが「侵略的外来種」、法律で指定された国外由来のものが「特定外来生物」である。



## 6 あなたご自身について

あなたご自身のことについてお伺いします。

(1)～(8)のそれぞれについて、あてはまる番号に○印をつけてください。

(1) 性別<性自認は?> (あてはまる番号1つに○)

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

(2) 年齢 (あてはまる番号1つに○)

1. 18歳～19歳	5. 50歳～59歳
2. 20歳～29歳	6. 60歳～69歳
3. 30歳～39歳	7. 70歳以上
4. 40歳～49歳	

(3) 職業 (あてはまる番号1つに○)

1. 農業	5. 主婦・主夫
2. 給与所得者	6. 学生
3. 自営業者	7. 無職
4. パート・アルバイトなど	8. その他

(4) 郡山市での居住年数 (あてはまる番号1つに○)

1. 1年未満	4. 10～19年
2. 3年未満	5. 20～29年
3. 3～9年	6. 30年以上

(5) 居住形態 (あてはまる番号1つに○)

1. 持ち家	4. 社宅、公舎など
2. 民間の借家・アパート	5. 間借、同居、寮など
3. 公営住宅	

(6) 現住所の直前に住んでいたところ (あてはまる番号1つに○)

1. 生まれてからずっと現住所に住んでいる	4. 東京圏 ※1
2. 郡山市内の別の地域	5. その他 ※2 ( )
3. 郡山市外で福島県内	

※1 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県      ※2 福島県、東京圏以外の居住地

(7) 上の質問(6)で、「2.～5.」に○を付けた方にお聞きします。

移転先として現住所を選んだ理由は何ですか? (あてはまる番号全てに○)

1. 生まれ育った場所だから	11. 病院・医院が近くにあるから
2. 自分や家族の持ち家だから	12. 住まいの周辺が静かだから
3. 寮や社宅に住むから	13. 自然環境が身近にあるから
4. 親や子、親族、友人などがいるから	14. まちなみや景観がよいから
5. 家賃や住宅の価格が手ごろだから	15. 賑わいや活気があるから
6. 交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから	16. 犯罪が少ないと感じているから
7. 日ごろの買い物などが便利だから	17. 街のイメージがよいから
8. 保育所・公園等の子育て環境がよいから	18. 郡山が好きだから
9. 学校などの教育環境がよいから	19. 市民の気質や感性が自分と合うから
10. 文化・スポーツ施設などが近くにあるから	20. その他 ( )



(8) お住まいの地域 (あてはまる番号1つに○)

1. 旧郡山東部 (芳賀・小原田・緑ヶ丘・東部地区など)
2. 旧郡山西部 (駅前・大島・久留米・菜根・開成・小山田地区など上記地区以外)
3. 富田
4. 大槻
5. 安積
6. 三穂田
7. 逢瀬
8. 片平
9. 喜久田
10. 日和田
11. 富久山
12. 湖南
13. 熱海
14. 田村
15. 西田
16. 中田

◆市に対するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。◆

---

---

---

---

---

---

---

以上で、質問は終わりです。皆さまからいただきました貴重なご回答・ご意見等は、郡山市の今後の市政運営に反映させていきたいと考えております。

**お忙しいところご協力をいただきありがとうございました。**

※ お手数ですが、ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)をお使いのうえ、切手を貼らずに**5月28日(土)**までに、郵便ポストに投函してください。

調査票や返信用封筒へは、お名前、具体的な住所の記入は不要です。